

2021年8月16日

各位

フクシマガリレイ株式会社

フクシマガリレイ、グループ会社との連結強化を目指し SAP S/4HANA®を採用

《要旨》

フクシマガリレイ株式会社(本社：大阪市西淀川区、代表取締役社長 福島裕、資本金 27 億 6000 万円、従業員：2,205 名、業務用冷凍冷蔵庫製造 以下フクシマガリレイ)は、さらなる成長に向けてグループ会社との連結強化と業務効率の向上のため、次世代 ERP の「SAP S/4HANA® (エスエーピー・エスフォーハナ)」および分析クラウドの「SAP® Analytics Cloud (エスエーピー・アナリティクス・クラウド)」を採用しました。

フクシマガリレイは、デジタル変革に向けて、これまでに 2020 年から段階的に受注管理、アフターメンテナンスサービスなどの主要な業務システムの移行および、パブリッククラウド上に全社共通基盤を構築してきました。この度、更なるデジタル変革の中核となる『次世代基幹システム』として、国内グループ会社の会計領域について『SAP S/4HANA®』、及び SaaS 型分析クラウド『SAP® Analytics Cloud』の導入することを決定しました。2022 年下半年からクラウドの共通基盤上での稼働開始を目指し、構築を進めてまいります。

■導入の背景

当社はこれまで会計、生産管理などの基幹業務を IBM 社の AS/400 (ハードウェア) 上で RPG というプログラム言語で構築したスクラッチシステム (自社開発のシステム) を 30 年以上、少しずつ改善の積み重ねを行ってきました。ハードウェアとしての高い堅牢性と、過去の古いプログラムをそのまま運用できるという、コスト優位性に優れた AS/400 はこれまでの当社の成長に大きく貢献してきました。

しかし、これからのガリレイグループの事業規模拡大のスピードに対応したシステムとするべく、当社は基幹業務システムの刷新を行うこととなり、スクラッチシステムによる開発でなく、ERP の導入を選択いたしました。

■期待する効果

・デジタルトランスフォーメーション (DX) の実現

さらなるビジネスの成長のためには、デジタルトランスフォーメーション (DX) の実現は欠かせません。ERP の導入にあたりグループ会計システムを手始めに販売・生産システムを含めた基幹システム全体の刷新を視野に入れ、将来的な DX 実現の基盤としてグローバルでも実績の多い SAP S/4HANA の採用を決定しました。

・ 経営情報の可視化

M&A などによるグループ全体の規模拡大に伴い、それに適した会計基盤の整備が急がれていました。この度の SAP Analytics Cloud の活用によって経営情報のさらなる可視化・活用を推進していく予定です。



SAP 導入範囲イメージ

お問い合わせ先 フクシマガリレイ株式会社（担当：情報戦略部 河田）

〒555-0011 大阪市西淀川区竹島 2-6-18 TEL：06-6477-2025 FAX：06-6477-0755

URL：<https://www.galilei.co.jp/>